

(別添2)

【滝沢市】
ネットワーク整備計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合	13.3%	100%	100%	100%	100%
アセスメントの実施有無	有	有	適宜	適宜	適宜

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合 (%)

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」(文部科学省・令和5年11月実施)の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」(文部科学省・令和6年4月)を超える学校数は2校、総学校数15校に占める割合は13.3%であった。

上記調査は無線AP下での簡易測定であったため、通信が校内ネットワークを辿る過程で帯域が一定程度減衰した後の数値であり、学校のネットワークの実態を正確に把握するものではなかった。実態を正確に把握するために、令和7年4月に各学校の集約SW直下での有線での帯域測定を保守業者に依頼し調査した結果、全ての学校において帯域の平均値が、文部科学省が示す「学校規模ごとの当面の推奨帯域」以上であることが確認でき、十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合が100%であることを確認した。

2 ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

市内小中学校のネットワークは、同様の機器を整備し、ネットワーク構成についても同様の構成となっていることから、全校に共通する課題が検出されるものと判断し、令和6年度にネットワーク全体の調査を1校に実施し、WAN調査を11校に行った。その結果、無線環境において若干の電波干渉がある等の課題が発見された。

上記アセスメントの結果を踏まえ、令和7年度に、2.4GHzの無力化(5GHzでのWi-Fi接続過負荷を避けるため、職員室付近や避難所として利用する体育館を除く)やチャンネルボンディングを全校に行い、無線通信の安定化とスループット向上に取り組み、Wi-Fi接続環境の改善を行った。

(備考)

令和8年度のセカンドGIGA端末の整備に併せて、回線の契約変更を予定しており、活用率の増加に対応できる環境の整備を予定している。